

A. 日本霊長類学会会員を対象とした調査票

霊長類における結核感染症に関する意識調査

本調査は霊長類における結核に関する意識、対応等の実態を把握し、今後の対応に役立つ資料を収集することを目的として実施します。本調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

1. 調査は無記名によるものであり、アンケート回収後は個人情報等を識別することができない状態で保管します。
2. 本調査の結果は、学術研究として報告書などに使用されますが、個人を特定する情報が公表されることはありません。また、回答いただいた情報は本調査の目的以外には使用いたしません。
3. 本調査の実施に関しては、大阪大学大学院 人間科学研究科 行動学系研究倫理審査委員会の承認を得た上で実施しています（承認番号：HB022-065）。
4. 本調査は、令和4年度厚生労働科学特別研究事業「結核まん延防止のためのサルにおける検査方法及び診断手法の見直しに資する研究（研究代表者：山海直、研究分担者：藤田志歩・山田一憲・岡村智崇・辻村祐佑、研究協力者：山梨裕美）」の一環として実施いたします。
5. 本調査に関して不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

保全・福祉委員会 山海 直

メール：t-sankai@nibiohn.go.jp

電話：029-837-2065（直通）

keriia75@gmail.com [アカウントを切り替える](#)



共有なし

* 必須の質問です

貴方の研究や研究対象について、以下の質問にお答えください。

研究対象の区分（複数選択可）*

- 飼育霊長類（実験動物、国内・国外を含む）
- 飼育霊長類（動物園等の展示動物、国内・国外を含む）
- 野生霊長類（野猿公苑等の餌付け群、国内）
- 野生霊長類（野猿公苑等の餌付け群、国外）
- 野生霊長類（非餌付け群、国内）
- 野生霊長類（非餌付け群、国外）
- 化石、標本等（非生体）



研究対象種（ヒト以外）*

- 曲鼻猿類
- 広鼻猿類
- 狭鼻猿類（オナガザル上科）
- 狭鼻猿類（類人猿）
- その他: _____

研究対象個体（生体）との距離（最も接近する場合）*

選択 ▼

生体試料（組織、血液、糞、尿、毛など）のサンプリング*

- する
- しない

バイオセーフティに関する実情・対応等についてお答えください。
バイオセーフティに関する事故とは、サルによる咬傷や飼育エリア内での怪我等、人に発生した事故を指します。

バイオセーフティに関する講習の機会*

- 受けたことがある
- 受けたことがない

バイオセーフティに関する事故発生時の対応マニュアルの整備*

- ある
- ない
- 分からない



バイオセーフティに関する事故発生時の相談医師 *

- ある
- ない
- 分からない

バイオセーフティに関する事故発生時の締結病院 *

- ある
- ない
- 分からない

サル（生体）を扱う研究を実施する際の人獣共通感染症対策について、貴方自身 *
が行っているもの全てにチェックを入れてください。

- 検温
- 検疫（体調が悪いときは実験や観察を行わないなども含む）
- 専用衣服、靴の着用
- マスクの着用
- フェイスシールド、ゴーグルの着用
- 手袋の着用
- 手洗いの励行
- 手指のアルコール消毒
- 生体を扱わない
- その他: _____

人獣共通感染症に対する意識についてお答えください。

結核は人獣共通感染症であることを知っていましたか。 *

- 知っていた
- 知らなかった



サルの結核は届出伝染病であることを知っていましたか。届出伝染病とは、動物 *
での感染が見つかった場合に獣医師による届出が必要とされる法定伝染病のこと
です。

- 知っていた
- 知らなかった

これまで結核検査に使用されてきた国内産サル用ツベルクリンが利用できなく *
なったことを知っていますか

- 知っている
- 知らない

研究実施において、日頃から人獣共通感染症まん延防止について意識しています *
か

- 常に意識している
- ときどき意識している
- あまり意識していない
- ほとんどまたは全く意識していない
- 分からない

研究実施において、日頃から結核まん延防止について意識していますか *

- 常に意識している
- ときどき意識している
- あまり意識していない
- ほとんどまたは全く意識していない
- 分からない



研究を行う際の人獣共通感染症対策について何か気になる点がありましたら、自由に記入してください。

回答を入力

送信

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。不正行為の報告 - 利用規約 - プライバシーポリシー

Google フォーム



B. 動物園/水族館を対象とした調査票

<飼育下霊長類における結核感染症に係る調査アンケート回答用紙>

- ・ 貴施設に関して、以下の質問にお答えください。
- ・ 選択形式の回答は、該当する項目にチェック (☒) をいれてください (☐をクリックするとチェックが入ります)。

0. ご回答者の属性 (複数選択可)

- 施設責任者
- 飼育担当者 (霊長類)
- 飼育担当者 (霊長類以外)
- 獣医師
- その他
()

1. 飼育しているサル類の種類 (複数選択可)

- 曲鼻猿類
- 広鼻猿類
- 狭鼻猿類 (オナガザル上科)
- 狭鼻猿類 (類人猿)
- その他
()

2. 霊長類の合計飼育頭数

- 1~10 頭
- 11~50 頭
- 51~100 頭
- 100 頭以上

3. 飼育施設の構造等についてお答えください。

※複数の種を飼育している場合は、任意の種 (3つまで) についてお答えください。

- (1) サルの種類 ()
- (2) 飼育エリア (複数選択可)
 - 屋内
 - 屋外
- (3) 飼育施設の構造 (来園者とサルとの間の隔壁) (複数選択可)
 - ガラス板・アクリル板等 (空気を遮断できる構造)
 - 柵・網等

約 () m

1. 動物の健康管理についてお答えください。

(1) 獣医師の人数

() 人

(2) サルの健康診断の有無

有

・ 頻度 ()

・ 主な検査項目 ()

無

(3) ツベルクリン検査の実施

有 / 無

(4) サルが死亡した場合の剖検等 (死因の究明)

有 / 無

(5) サルが死亡した場合の死体処理の方法

専門業者に依頼

一般廃棄業者に依頼

施設内で処理 (焼却、埋葬など)

その他

()

2. バイオセーフティに関する実情・対応等についてお答えください。

※バイオセーフティに関する事故とは、サルによる咬傷や飼育エリア内での怪我等、人 (飼育担当者、来園者を含む) に発生した事故を指します。

(1) 飼育担当者に対するバイオセーフティに関する講習の機会

有 / 無

(2) バイオセーフティに関する事故*発生時の対応マニュアルの整備

有 / 無

(3) バイオセーフティに関する事故発生時の相談医師

有 / 無

(4) バイオセーフティに関する事故発生時の締結病院

有 / 無

3. 人獣共通感染症対策についてお答えください。(複数選択可)

(1) 飼育担当者に対する人獣共通感染症対策

作業服の着用

靴の消毒

マスクの着用

ゴーグル、フェイスガードの着用

手袋の着用

- 手洗いの励行
 - 手指のアルコール消毒
 - 検温
 - その他
- ()

(2) 来園者に対する人獣共通感染症対策

- 靴の消毒
 - マスクの着用
 - 手袋の着用
 - 手洗いの励行
 - 手指のアルコール消毒
 - 検温
 - その他
- ()

4. 人獣共通感染症に対する意識についてお答えください。ご回答者自身のご意見で結構です。

(1) 結核は人獣共通感染症であることをご存じでしたか。

- はい / いいえ

(2) サルの結核は届出伝染病*であることをご存じでしたか。

※届出伝染病とは動物での感染が見つかった場合に獣医師による届出が必要とされる法定伝染病のことを指します。

- はい / いいえ

(3) これまで結核検査に使用されてきた国内産サル用ツベルクリンが利用できなくなったことをご存じですか。

- はい / いいえ

(4) 施設内における人獣共通感染症まん延防止について、日頃から注意喚起が行われていますか。

- はい / いいえ

(5) 施設内における結核まん延防止について、日頃から注意喚起が行われていますか。

- はい / いいえ

(6) 貴施設における人獣共通感染症対策の課題がございましたら、自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。